

「医学科志望の皆さんへ」と題し講演

城西病院の白石裕比湖理事長は9月20日、古河市の茨城県立古河中等教育学校で「医学科志望の皆さんへ」と題して講演しました。

同校は医学部コースを設置し、医師を目指す生徒たちも勉学に励んでいます。2021年3月10日に、医学の道を志す生徒たちに本物に触れる機会を多く与えたいと、城西病院と「地域連携協定」を結びました。協定では、医学人材育成の連携を狙いに、医療従事者による講演会や医療現場となる病院の訪問などを通じて連携するという内容で、第1回の講演会は2021年11月に行われ、今回は2回目になります。

白石理事長は、医学部志望の動機や医学部試験の状況、医師国家試験の状況、医師となってからの活動などを自らのエピソードを含め、時にユーモアを交えて講演しました。

講演には、3年生から5年生（中学3年生から高校2年生）の生徒約40人が詰めかけ、講演を熱心に聞いていました。

白石理事長は「ここにいる生徒さんは、皆さんが同じ目標を持つ仲間。一緒に医学部の門をくぐってほしい」と語り、医学部の受験状況などを紹介するとともに、学費事情も実体験に基づいて披露。医学部に入学



してからの勉強や研修医の体験についても触れました。

「医師はこれまで長時間労働を奨励する風土にあった。しかし、時代は徐々に変わろうとしている。何より。自分が興味を持つことができ、社会に貢献できる仕事で頑張ることができる」と現状を語ったあと、医学部受験のノウハウの一端を披露。大学6年間の学費を公立大学や私立大学ごとに紹介し、学生時代に受けられる奨学金についてもアドバイス、医師国家試験の一端も紹介しました。

さらに自らの研修医時代や自治医大、サンフランシスコ留学を通して、ノーベル生理学・医学賞を受賞したジェームズ・ワトソン氏との出会いなど、数多くの出会いも紹介しました。

最後に「今の努力は、血となり肉となり骨となって将来に役立ちます。まず心身を鍛えてください。体力や少しのことでへこたれない精神が求められます。そして、勉強するのはもちろん、受験情報の収集や家の経済状況、医師になろうとする志の確認を行ってください」とアドバイスして講演を結びました。生徒代表からは「先生の講演を生かし、これからも目標に向かって全力で取り組んでいきます」と謝辞が贈られました。

2023年9月21日

